

第3章 夢を持つ

第9条 夢を持ち続ける

こどもは、生きる力となる将来の夢を持ち、伸ばし、それに向かって進むことができます。

第10条 人と交わる

こどもは、夢を持つために、あらゆる人と交流することで、たくさんの生き方や考え方を学び、社会の様々な情報や仕組みを知ることができます。

「勉強と自分の夢が繋がらない」「なんで勉強するのかわからない」ということばをよく聞きます。好きなことを見つける、夢を見つける、目標を見つけることは、私たちが生きていくための大きな力になります。かなう、かなわない、ということだけにとらわれず、いつまでも、いろいろな形で自分の夢にかかわり続けて、生き生きしている大人も、たくさんいます。

こどもの世界は、成長するに従って大きく広がっていきます。世の中には、いろいろな考え方をもちた人がいます。いろいろな生活をしている人がいます。いろいろな技術をもった人がいます。いろいろな経験をした人がいます。こどもは、夢を持つために、たくさんの人の話を聞いたりして、いろいろなことを知ることができます。

第11条 自然と交わる

こどもは、感性や創造性豊かに育つために、自然を実感したり、体験したりすることができます。

第12条 文化と交わる

こどもは、感性や創造性豊かに育つために、芸術、スポーツ、伝統文化、昔遊び及び他の地域の文化に触れることができます。

高知県では、文化や芸術にふれる機会が少ないかも知れません。でも、ちょっとまわりを見回せば、都会では体験できない、自然、地域の伝統文化や身近な芸術にふれるチャンスがたくさんあります。これは、高知県ならではのといえるでしょう。

